

# 絶好調!

あと一粒の涙で  
一言の勇気で  
願いが叶う  
その時が来るって  
僕は信じてるから  
君も諦めないでいて  
何度でもこの両手を  
—あの空へ—

# 「あとひとつ」

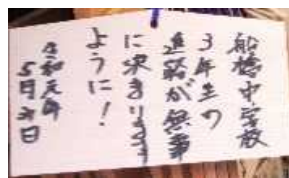
## 団体戦

昨日19日(火)、公立高校の前期選抜試験の発表がありました。毎年前期選抜は非常に厳しい倍率で、本校の合格者も受験した生徒の半分くらいでした。あと半分の公立高校を第一希望としている生徒は、来週の火曜日に後期選抜の出願をします。あらかじめ前期はA高校に出願するけれど、後期を受けることになったらB高校に出願する、と決めている生徒もいますし、2回とも同じ高校に出願する、と決めている生徒もいます。もちろん、当初の予定を変える生徒も結構います。子ども達は、ここでまたひとつ大きな壁を越えなければならない、ということなのです。後期選抜試験は、3年生全体の3分の1くらいが受験します。

3年生の学年便りに、「受験は団体戦!」という言葉がありました。1月の県内私立高校の試験が始まる直前に発行されたのですが、一部をこの紙面でも紹介したいと思います。

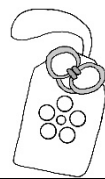
### 受験は個人戦、そこまでの道のりは団体戦!

『受験は団体戦』と言うと、「自分のために自分で勉強して、自分が受けるんだから個人戦だ」と言う人がいます。その通りです。集団で勉強した方が効率が良いとか、試験の時に相談できるとか言っているのではないことは、誰にでもわかることだと思います。



「自分だけが辛いのではないのでみんなで励ましあっていこう。」「自分だけではなく、みんなの希望が叶うといい。」「という気持ちのもとに「自分だけではなくみんなのためにも体調管理をする。」「受験に向かう雰囲気を壊さないように授業や自習に集中する。」「落ち着いて勉強できるように自分の役割はきちんと果たす。」といった行動をしようという意味ですよね。

来週には、第1希望の私立高校に合格して、進路が決定する人も出てきます。そうした人には、「船橋中の3年生全員が希望を達成できるように、学年や学級全体の学習する雰囲気を崩さないこと」「入学許可を取り消されることのないように、自分の行動に責任を持つこと」「進学後に自分が困らないように、ここで学習の手を抜かず、しっかりとした学力を付けておくこと」の3点をお願いする予定です。間違っても、まだ受験の続く仲間を裏切るようなことはしないでください。受験は辛いものであり、早く終わってほしいものですが、それは“私だけ”ではなく“みんなも”の気持ちを持って、励ましあい、助けあって乗り切っていきましょう。(3年学年便り1月16日号より)



後期選抜まであと10日。中には、もう時間が足りないから△り、と思っている人もいるかもしれませんが、しかし、これからの10日間は密度の濃い10日間になります。人間は、緊張感やプレッシャーを感じている時の方が、平常時よりたくさんの情報を処理できるといえます。ですから、これからの10日間は今までで一番たくさんの内容を記憶できる期間になります。そして、記憶が薄れる前に試験の当日になるので、記憶した内容が確かなまま試験当日を迎えることもできます。部活動でも、試合や大会が近づくほど緊張感が高まりますが、実力は加速度的に伸びていきます。そして、力を出し切れた時、結果は後からついてきます。自分を信じて、逃げずに、勇気を持って最後まで立ち向かう者には、必ず満足できる未来が開けます。**大切なのは「あきらめない」こと。そして「最後までやりきる」ことです。**

受験は個人戦ですが、みんなで歩む道のりは団体戦です。強いチームには「勢い」があり、その「勢い」を作るのは一人一人の前向きな思いです。最後の最後まで応援しています。